

令和5年度（2023年度）第3回熊本市教科用図書選定委員会

議事録

委員長	<p>議案 小学校教科書採択について協議をする。</p> <p>本日は、書写、社会、算数、理科、外国語、道徳の6種目の教科書についての報告を受け、協議をする。各種目とも、時間に限りがあるので、ご協力をお願いする。</p> <p>それでは、「書写」について、調査・研究結果の報告からお願いする。</p>
研究記録員	<p>《書写 調査・研究結果の報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の意見・感想について報告をお願いする。</p>
事務副局長	<p>《教科書展示会意見・感想報告》</p>
委員長	<p>質問・協議に入る。質問や意見があればお出しいただきたい。</p>
委員	<p>書写については、毛筆の文字が、3社少しずつ違いがあると思う。やはり子供に書きやすいかどうかが大変ではないか。ちょっと今、見たときに、字体が少しずつ違ったりしていると思うのだが、その辺、何かご審議いただいて、顕著な何か報告があったら教えていただきたい。</p>
研究員代表	<p>それぞれ確かに微妙な違いがあったのだが、それぞれの教科書会社の文字についてそれぞれ見比べた。どれが一番いいという見方は我々では難しかったが、ただ、子供たちが実際に書くに当たっては、それぞれに工夫されているものがある。例えば、今、実際、東京書籍を使っているが、その文字というものは素直な文字が書かれていると研究員は感じているところである。</p> <p>だから、具体的にこの会社のこの文字がこうであるというような説明はできないが、そういった形で一応3社見比べて調査した。</p>
委員長	<p>他にないか。</p>
委員	<p>ちょっと教えてほしいのだが、この最後の光村図書の付箋紙5番のところがとてもいいなと思っている。5番の、6・7頁。その次の8頁も説明があったが、「深い学び」のところは○になっていた。とても工夫されていて、◎になぜならなかったのかなという気がしているが、ちょっとそのあたり教えていただけるとありがたい。</p>
研究記録員	<p>スライドの中で説明したのだが、しんによりの書き方の説明が最後の払うところのみなされており、他社では筆の使い方等の説明が他の画にも入っているため、毛筆の筆使いの説明がより加わると◎になるのではないかという説明をスライドで行っている。</p>
委員長	<p>他にないか。</p> <p>まとめをする。各社それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということよろしいか。</p> <p>これで書写の教科用図書について、協議を終了する。</p>

委員長	続いて、社会について、調査・研究結果の報告をお願いします。
研究記録員	《社会 調査・研究結果の報告》
委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。
事務副局長	《教科書展示会感想・意見報告》
委員長	質問・協議に入る。質問・意見があれば、出していきたい。
委員	<p>先ほど日文のところ、3のところか、子供たちが最初提案をして、最初は意見を提案していて、その後、まとめに入ったときに、提案とまとめのところの関係性が薄いということで、そこがもう少し説明が欲しかったということ言われた。細かいことは分からないのだが、よくこの委員会ですべて皆さん言われるのは、あまりにも説明があり過ぎると子供たちが考えないので、説明がないほうが考える余地があるんだという意見が結構ある。そういう選ばれているというようなところを幾つか今もお話を伺ったものだから、その辺はどうなのかなと思った。</p> <p>ただ、あと、子供たちに考えさせるためにここは説明が抜いてあるのかなというような見方もできるかもしれないし、やっぱり社会科としてはある程度つながりが見えるようなほうがいいのかなと、そこもちょっとよく分からないところである。そこをご説明いただければと思って質問した。</p>
研究記録員	それぞれ考え方はあると思う。ただ、ここで調査したこの内容については、やはり少し論理が飛躍しているということが話題になった。あと、提案では話していないが、もう1人、れんさんという人の反応もあるが、れんさんは話題が完全に変わっている。そういうところを見ると、もう少しここは工夫が欲しかったという調査研究員の報告であった。
研究員代表	現場の方から申し上げると、私たち教員は、ベテランの先生もいる。それでも若手の若い先生たちが増えているということで、今度は子供の立場もそうだし、今度は教える立場からいっても、ある程度、きちんと子供たち、先生たちが論理的にきちんとつながっていた方が学びやすい、または学ばせやすいということもあるので、先ほど申し上げた評価になった。
委員	プロの先生方が苦勞して検討されているということがよく分かった。
委員長	他に。
委員	東京書籍だけ分冊というのか、歴史編、政治・国際編と6年生が分かれている。あとの2社はとても厚い教科書になっているということだが、この分冊、私はいいと思った。歴史をまとめてあるというようなところで、分冊と1冊にまとめてあるというところについては、研究員の中ではどんな話題になったか。
研究員代表	分冊と1冊でできているのは、これは一概にどちらがよいというふうにはなかなか言えないと思っている。分冊の方が実際軽いのは軽いのだが、昨今は子供たちは教科書を学校に置いて帰るので、一概に重さがどうということ

	<p>ではないと思う。今度は1冊になると、単元の流れというのが一連の流れで構成してある。例えば歴史で言うと、最初に公民的な内容が多くて、政治、つまり選挙的な、私たちが普通選挙になっていくという流れがある。それを今度は歴史的に、じゃ、どんなふう到现在の社会のように歴史がつけられていったのかという視点のそういう一連の流れで教科書が作ってあるのが大体1冊の教科書のコンセプトである。2冊になると、その辺のコンセプトというのは割となく、別々のいわゆる公民的な内容と歴史的な内容という感じで、割とどちらかというとはっきり分かれたような形でコンセプトがつくってあるので、分冊がいいのか1冊物がいいのかというのは、ちょっとはつきり言えないところである。</p>
委員	<p>先ほどの委員のお話なのだが、私もちょっと気になっているのが、教育出版の、とてもよくできている教科書なのである。この3のところの「願いを実現するためにどのような働きかけを行ったらよいか考えよう」というところは、これだけ出されてしまうと、説明してあると、今度は児童が自分で考えるときになかなか難しくなるんじゃないかな。もっと違う問題を自分たちで調べて自分たちの身近な問題を出すんだったらいいが、この授業で、この問題についてというふうになってきたときに、ここまで書いてあると、児童が考えるときに引き止めてしまうというか、そういう心配というのではないか。先ほどベテランの先生と若い先生がいることが話題になったが、やっぱり学ぶのは児童、考えるのは児童なので、その辺、先生方はどうお考えか。</p>
研究員代表	<p>教出の場合は、つかむとか、その辺がはっきりしていて、今自分たちがつかむところを学んでいるのか、調べるところを学んでいるのかというところが左端などに割と丁寧に毎回記入されており、自分たちが今一体何をやっているのかというのが明確になっている。それで、子供たちが今自分たちが調べていること、また課題に思っているということに対して、教える先生側もそうだし、学ぶ子供たちも、今自分たちがどの時点にいるのかというのがはっきりしながら学べるということで、その点は子供たちもしっかり学習に主体的に取り組めると考えている。</p>
研究記録員	<p>補足する。教出の構成は、まず事例で、浜松市の事例を勉強した後、最終的なこちらの「つなげる」の学習は、自分たちのまちの熊本の場合に置き換えたときにどういう願いがあるのか、それに対してどういう提案をしたらいいかという構成になっている。もちろん最初から最後まで熊本市で扱って授業することも可能だし、このように事例として浜松を取り上げた後、最終的に熊本市という形もできるような構成になっている。</p>
委員	<p>児童もよく自分たちの身近な問題として、いろんなことを考えるということができるということか。</p>
研究記録員	<p>そうである。</p>
委員	<p>今の議論なのだが、私も、委員長が言われたのだが、教育出版はかなり多様な意見を教科書の中に出るようにしていて、ほかの東書ないしは日文は、例えば公園づくりに関して、そもそも公園が欲しくないという人がいたらどうするかという意見が研究員からあったという話だったが、そういう多彩な意見が教科書に載っているということは実は結構重要なんじゃないかと思っ</p>

	<p>ていて、むしろ今回の調査の目標というか一つの観点として、多様な意見を、子供が多様な観点からの見方ができるようにする、これ、社会科の見方、考え方で非常に重要なポイントだと思うが、なので、一つそういう意味では、ある程度たくさん意見が列記されているほうが、自分の意見だけじゃなくてほかの人の意見を見る機会が増えると。そういうふうなものだろうと私は思った。だから、ただ最終的にはバランスの問題であるのと、あとは先生の授業の進め方の問題だろうというふうにあるので、その意味では教育出版のいろいろたくさん意見が出ているということは悪いことじゃないというか、むしろ必要で、今の児童の実態から見て必要なものかなと私は思った。</p>
委員長	他に何かないか。
委員	大したことじゃないのだが、写真のことなのだが、教育出版は白黒をカラーに多分されていると思うのだが、そこについて何か調査のときに話題が出たら教えていただきたい。
研究員代表	教育出版は割とできるだけカラーに、多分 AI 技術か何かだと思うのだが、カラーに割と変えてある。調査の段階で、やっぱり現代の今の子供たちは割とそういう色がついての方が分かりやすいだろうというような意見は出ていた。特に教育出版はカラーを使っている、自分たちの特色、今回の教科書の改訂の特色ではないかなというふうに思っている。
研究記録員	カラー化については、教育出版、6年生の一番裏用紙のところに、白黒写真のカラー化についてということで説明がなされている。
委員長	296 頁である。
研究記録員	明治以降でカラーの処理がされている箇所は、ここに載っている分が処理されている。
委員長	他に何かないか。
委員	教出と日文は目次に SDGs に関わることがどこのページに書かれているということが載っているのだが、東京書籍さんにはそういうのがないのだが、東京書籍さんは SDGs についてはどのように記載されているのか教えていただきたい。
研究員代表	東書なのだが、例えば、まとめのところ、最後の単元の裏のところに SDGs を扱ってあったりとかするのだが、他の教科書会社のように SDGs を銘打って振り返るという形ではなく、教科書の作りが違って、例えば6年生の政治・国際編、この106頁にはこういうこういう形でSDGsというのが載って、これを勘案して考えるみたいなページは作ってあるのだが、例えば日文は、各単元の終わりのところにSDGsという形で身近なことでSDGsを絡んでというようなのが割ときちんと作ってある。メーカー側それぞれの特色があり若干扱い方が違うというふうになる。
委員長	他に何かないか。 まとめをする。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当で

委員長	あるということによろしいか。これで社会の教科用図書について、協議を終了する。
委員長	それでは、続いて「算数」について報告をお願いします。
研究記録員	《算数 調査・研究結果の報告》
委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。
事務副局長	《教科書展示会感想・意見報告》
委員長	質問及び協議に入る。質問・意見があれば、出していただきたい。
委員長	今回は6社ある。現在は東京書籍か。
研究員代表	啓林館である。
委員長	啓林館。これを見ると東京書籍と啓林館が同じ項目で全部◎が並んでいるが。
委員	プログラミング教育という視点で結構算数だとか理科だとかというところでは学習指導要領にも書かれているところがあると思うが、プログラミング教育について今回調査をされた段階で、6社あるが、どういった話題が上がったかというところを教えてください。
研究員代表	プログラミング教育に関して、まず小学校というのはプログラミング的思考を育てていくということで進めていくようになっている。プログラミングの直接の単元名をつかって体験させるということをしている。東書だけが4年生以上である。ただし、もうお分かりのように算数というのは例えば筆算とかだったら手順よくしていくという思考で進めていくものなので、どの教科書もプログラミング的思考は育てることができる判断している。
委員	どの会社も同じような内容になっているというふうに捉えてよいか。
研究員代表	プログラミングというのはとても意識して教科書に反映されていると思った。
委員	特にプログラミング教育というのは、この中での1番のところに含まれていると考えているか。
研究員代表	そのように捉えている。
委員長	他に何かあるか。
委員	比べ方、割合のところだが、出し方がそれぞれ違っている。まず、「シュートする」という話のときに、一番違うのは、啓林館は内側じゃなくて外側である。何倍という数を最初に求めていると思うが、啓林館だけは外側で他は

研究員代表	<p>内側に入ってくる。さらに、1の内側に入っているときに全体を示している。例えば投げた回数が何回で、入ったのが何回という示し方をしているところと、入ったところが何回で、投げたのが何回というように示しているところがある。そのあたりを子供の思考はどういう流れなのかと見たときに、東書の方がすんなり入っていく、構成として入っていくと感じているのだが、あくまでもこの単元での見え方なので、他がどうなのかということもあると思う。先ほどの啓林館だけはちょっと違う入りをしていて、後で1の内側が出てくる。だから、そのあたりの構成、子供たちの思考の流れの中でどのように捉えられたのかを教えてください。</p>
委員	<p>割合に関しては、日常生活では、170%や200%などがある。新幹線の混み具合など。ただ、1の内側というのが通常の考え方。つまり子供たちにはそちらのほうがすんなりと入ることができるようである。倍の話もあったが、各社とも割合の理解に関してはとても重要視しており、5年生だけではなく、2年生の掛け算も踏まえて、3年生から倍について考え、そしてこの割合につなげていくという構成になっていた。</p>
研究員代表	<p>東書を見ると、子供の思考の流れが見えるような形で示してある。それがいいのか悪いのかということも一つには思う。だが、そこまで示してしまうと、もうその道しかない、一から考えるということをしなくなる、読めば分かるということにもなる。そのあたりのところは調査の中でどのような意見が出されたのかを教えてください。</p>
委員	<p>教科書会社によっては、丁寧に進めてある単元構成、シンプルに表記してある単元構成などがある。ただ、多くの子供たちのこと、実態を考えると、少しでも多くの子供たちが理解できるようにということであれば、丁寧な進め方、すんなりと入るような内容というのがいいと考える。</p>
研究員代表	<p>今現在も、「教科書を教える」のではなく、「教科書で教える」である。先生方の使い方次第というところもあるし、逆に、今不登校の問題も出てきているが、子供自身が自ら読みながらやるということを考えるならば、ある程度の丁寧さも必要なのかなとも感じている。話題が変わるが、最後に。東書だけ、見たときに少し文字が見えづらい、入りにくい印象を受けたのだが、書体なのか太さなのかということもあったのだが、そのあたり、話題になったか。</p>
研究員代表	<p>丁寧に進めていくと情報量が多くなるということで、そのように捉えてしまうだろうということはある。また、先ほど、「このほうがいいと思う」と私は申し上げた。それは私の考えが入った表現になった。申し訳ない。東書のほうが丁寧に進めてあるという事実をお伝えしたつもりであった。訂正する。</p>
委員長	<p>丁寧にするから少し量が多くなっていっているということがあるということか。</p>
研究員代表	<p>丁寧にすると考えなくなるのではないかと心配する研究員もいた。一方で、情報量が少ないと自分で考えるからいい。しかし、算数を苦手と考えている子供にとっては、家庭学習等で自分で学習するときには、それはどうかとい</p>

<p>委員</p>	<p>う意見もあった。それぞれ捉え方で変わってくるという感じである。</p> <p>熊本市はずっとかなり長い間、啓林館を使ってきていたかと思う。私は、算数が専門ではないが、啓林館の教え方は昔からちょっと他の教科書会社と違うというようなどころがかなりあると言われていて、割合のところに関しても、最初からテープ図みたいものが出てきて、それで捉えさせようというように、非常に特徴的である。だから、今の議論にあったように、確かに東書の方が、附属はずっと東書を使っているが、かなりシンプルに、ストーリーを重視して系統性を積み上げていくというような感じで作ってはいる。今の議論であったように、確かに東書が丁寧だと思うのが、その一方、啓林館は割と子供たちに考えさせるというところが多くて、その結果が今の児童の実態のところに出てきていた。特に全学調の思考問題のところでは結構強みを発揮しているという部分がある。いろいろ見ていると、やっぱり啓林館の方が応用問題の発展的などころなど、細かくたくさん紹介してあり、逆に算数が得意な子にはむしろ啓林館の方がよりかみ応えがあるというか、そういうよさもあるんだろうなと思う。だから、どっちに舵を切るかということによってこの評価をどう考えていくかというのがまさしく出るんだろうなと思う。そのあたりはどうなのか。最終的に、子供の実態を踏まえて、今、両方同じような評価で出しているが、どっちに舵を切るべきなのか。今まで熊本市が算数で全学調的に、課題もあるとは言いながらも、割といいポイントにいるというところを、あえてちょっと転換して、より丁寧に基礎・基本みたいなものを教えていく方がいいんじゃないかと思われたのか、それとも啓林館の方の路線をしっかりとこの教科書を使いながら教えていくという方向に考えられたのか、意見がいろいろあったと思うのだが、もしそのあたりの議論があれば教えていただきたい。</p>
<p>研究員代表</p>	<p>まず、私は研究員であり、選定するということまで踏み込んだ言葉は発言ができない。ただ、事実として考えると、まず今言われたように、啓林館は、とても考える、思考力、判断力、表現力を鍛えるということを長年積み重ねてきている。一方で、「最後まで書こうと努力する」というところがマイナスになっているということを見ると、これは「最後まで行けない子供もいる」というのである。だから、どちらを大事にするかというのは今後一つのポイントになるかと思う。単元末の問題を割合で見たが、啓林館はいろいろな問題を、関連性のない問題を1つずつ並べている。東京書籍は、単元の初めに戻って、もう一度最後におさらいをする、振り返るという問題も掲載している。他の単元でもそういうところがあった。思考力なのか、それとも最後までやろうとする意志、力を育てるか。悩ましいところである。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に何かご意見ないか。調査の報告、ありがとうございます。研究員の方はご退室をお願いします。まとめをする。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいか。</p>
<p>委員長</p>	<p>これで算数の教科用図書について、協議を終了する。</p> <p>次に、理科の調査・結果の報告をお願いします。</p>
<p>研究記録員</p>	<p>《理科 調査・結果報告》</p>

委員長	<p>続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務副局長	<p>《事務副局長 教科書展示会感想・意見報告》</p>
委員長	<p>質問及び協議に入る。質問・意見があれば、出していきたい。</p>
委員	<p>この表を見ると大日本図書に◎がたくさんついているという状況になるが、そんなに優れている、というか、こんなところが非常に研究の上でよかったということをもう少し主張していただけるとありがたい。</p>
研究員代表	<p>大日本図書の件だが、まず観点2の①と③がどちらも優れていたというのは説明したとおりである。特にもう少し付け加えて言うと、問題が1つしかないという説明をした。1つしかないのがいけないのではなくて、そこに行くまでの「課題を見つける」ところをしっかりと重視してある。それが主体的な問題解決にしっかりとつながる作りになっているところが研究員からは意見として出ている。そして、問題が細切れにある教科書は、教師からの「次はこれをやるよ」という投げかけになるのだが、大日本図書のつくりは、「さあ、次は何を自分で調べたいかな」というようなつくりになっている。それが黄色の2点のところは特にここが優れているなというところが研究員から上がった。</p> <p>ほかのところでは、例えば観点7の「伝統・文化、国際社会」のところは、熊本県・熊本市の資料がどう充実しているかというところで研究員から意見があった。デジタルコンテンツにおいても地元資料が調べられるつくりになっている。これは熊本県でなくても、その県の子供たちが自分で調べられるつくりとなっている。補充的・発展的な学習に関しては、他社もとても充実しているところもあるが、これも（大日本図書は）デジタルコンテンツがうまく使えるつくりになっているという意見が出ている。以上、研究員から出た意見も含め、ご説明した。</p>
委員	<p>今の質問に少し関連するところもあるかもしれないが、主体的・対話的、深い学びというところ、ポイントになるところだが、その中で対話的学びのところである。ここについて差がついているようにも見えるのだが、大日本図書と啓林館、この差あたりがもし分かれば、どういったところが主体的な学びのところ差がついているところなのか、教えていただければと思う。</p>
研究員代表	<p>先ほど説明があった5年生の振り子のところでいうと、大日本図書は、振り子の長さ、重さ、振れ幅、3つに着目して、子供の自分たちの発想、思いによって、どれから調べてもいいというふうになっている。他社は大体「1番目にこれをするよ、2番目にこれ」というのが多いのだが、啓林館もそこは工夫してあって、1つ調べて、あとの2つは選べるという形になっている、というところで少し差が出ている。そういう意見があった。</p> <p>対話的については、説明の中であったが、イラストの中でも子供が話し合うシーンをよく用意してある。その事例の中で全部を語らないということ。「・・・」で示してある。教科書を見て、「何だ、こうなるんだ。」というのがぱっと見ただけでは分からないようなつくりも工夫してあるというところが研究員から挙がっている。</p>

委員長	他に何かないか。
委員	先ほど言われた7番のところ、割と熊本のところを扱っている。大日本図書は益城町の断層とか、啓林館は阿蘇とかよく出ている。これは対象県ごとに教科書が変わっているのか、全部まとめて作ってあるのか。
研究員代表	それは県ごとの教科書ではない。ただ、デジタルコンテンツでは県ごとにたくさん見れるというものである。
委員	教科書自体に扱ってあるのではなく、デジタルコンテンツのほうで出てくるといふことか。
研究員代表	ここに上げているのはデジタルコンテンツではない。紙面としてあがっているものである。
委員	紙面になっているというのは、結構扱われているということか。
研究員代表	資料数自体が多いということもある。
委員	なるほど、そういうことなのか。どうなのかと思った。
委員	東京書籍の主体的な学びのところは○になっているのだが、まず「レッツトライ」という単元の最初のページはとても充実していると思う。やはり「自然に親しみ」という小学校のとても大事な部分だと思うので、ここはちょっと目を引くところかなとも思う。 あわせて、東京書籍の流れの中で、実験から実験に移るところにストーリーがあるということも、子供にとっては必要性のある実験になっていくわけだから、とても主体的な学びになるのかなと思ったので、ここは◎にしてもいいのかなという気がするが、いかがか。
研究員代表	東京書籍のほうもかなりいい教科書にはなっていると思うが、今回は「見通す」という「問題解決の活動の流れ」、つまり学習指導要領にある「問題をつかみ、予想して、実験を計画して、実験にあたる」という流れ、これをととても重視している。そこからすると、大日本図書はしっかり明確にどの単元もきちんとそれを入れてある。しかし、教科書会社によってはそれが抜けていたりするのである。もちろん全部を並べなきゃいけないというわけではないのだが、子どもたちが流れをつみ、見通して、「今度はここで予想するんだ」とか、「今度はここで実験するんだ」というのがはっきり分かるようになってもらいたい。そういう意味で、きちんと並んでいるというところを見た上での判断である。教科書研究員からの意見であった。
委員	わかった。それと全く別件だが、この報告書の中にとっても私が驚いたのが、啓林館の教科書には7番のところ、色覚特性を含めた全ての人が見やすいデザインの工夫がなされているというふうになっていて、とても驚いたというか、とてもいいことだと思った。これは啓林館だけだったのか。
研究員代表	こういう色覚、その辺の対応は、どの教科書もされている。表現が違うだけで、カラーユニバーサルデザインなどがある。

委員	では、ほかの教科書にも、全部あるのか。
研究員代表	全部ある。その会社がうたっている言葉を使ったというところで、されている配慮としては、これはもうどの会社でもある。
委員	されてあるのだと、分かった。
副委員長	今の話にも関連するのだが、最終評価のところでは8番の人権尊重のところは全社◎で横並びに判断していただいているのだが、◎をつけるほどなのかなという感じもあって、こちらの調査報告書を読んでいると、全社横並びというよりは、ちょっと差がある。具体的にいうと、信州教育出版はそこまでないのかなという感じもするし、あるいは啓林館は、ほかのところはカラーユニバーサルデザインという話だが、ここは実はメディア・ユニバーサル・デザイン協会の承認を取ってある（申請中）。だから、そのところ、一歩先に出ているし、多様性ということに関して外国籍をルーツにするお子さんを一定の割合で出すとか、そういったところなので、ここは調査報告書に書いてあるよりは何か横並びではないという感じで、多少差をつけてもいいのかなと思った。今の話でいうと、信州教育出版が1ランク落ちるとか、それとも啓林館のほうが1ランク高いというふうに判断するのかという感じかなと。あとは、あまり変わらないかなと感じた。この全社横並びの評価が気になったところである。
研究委員代表	全く同じではもちろんない。ただ、差をつけるほどの差ではない。特に多様性というところに関しては、本当に教科書改訂ごとに、どこの会社もすごく反映されているなというのがよく分かる。研究員のほうからは、ある一定の、どの会社の工夫というのは意見として出ているが、確かにおっしゃるようには差はある。ただ、ここに差を出すほどではないかなというところで、研究員の意見のすり合わせとしてこちらにまとめたものである。
副委員長	◎にした理由は、差はつかないが、○であれば「工夫されている」でいいわけだから。
研究員代表	○で揃える、そちらのほうも検討はしたところであった。ただ、どこもここは高まってきたというところで◎で揃えたというところである。ここ何回かの教科書の変遷を見ながら、こういうところにすごく配慮されるようになったんだなというところが、特に経験のある者が研究員に多かったのも、そういうことが意見として挙げたものである。
副委員長	分かった。議論したということが分かった。
委員長	ほかにはないか。 それでは調査の報告、ありがとうございました。 研究員の方はご退室をお願いします。
委員長	まとめをする。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということよろしいか。
委員長	これで理科の教科用図書について、協議を終了する。

委員長	次に、外国語の調査・結果の報告をお願いします。
研究記録員	《外国語査・結果報告》
委員長	続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。
副事務局長	《事務副局長 教科書展示会感想・意見報告》
委員長	質問・協議に入る。質問・意見があれば、出していただきたい。
委員	1 番の主体的な学びについて、目次で確認をするというところだが、自分が子供の立場になったときに、目次を見て、「こんな学習するのだ」という見通しをもつかなと思った。ここで比較をしてあるというのが、目次を比べてみたときにも、そこから主体的な学びというのはあまり感じなかった。教科書の中身でこういったところが主体的な学びだという研究ではなかったので、あえて、CAN-DO リストや後ろの評価のところは振り返りでとても分かるのだが、目次から主体的な学びが見えたのかということ少し疑問に感じたところだったので、目次を主体的な学びというところで取り上げられたというところをもう少し説明していただいてもいいか。
研究員代表	見通しというところを考えたときに、まずは1年間の学びがどのような、何ができるようになるかというところで研究員の先生方と見ていったときに、目次だけではなく、単元の方も見てきた。各単元の中で何ができるようになるか。ただ、子供たち、また教師の立場で見たときにも、まずは1年間を通して最終的にどのような力を子供たちにつけさせたいか、また、子供たちにそこをどう意識させて主体的な学びにつなげるか CAN-DO リストと、そこを対比させて見ていくときに、まず一目で見えるところを、6社、見通しを見たときは、まずは6社の比較は目次を見やすいのかなというところで、見たところである。そこで、先ほど違いが出てきたところが、明らかにこの単元ではこれができるようになるというのを明記されている一覧表のような形になっているのも目次であったので、そこで比較を今回したところである。同時に、単元のところでも、何ができるようになるかというところを明記したところだが、お尋ねのところに関しては、1年間を見通したというところで目次を今回使ったところである。
委員	では、例えば、「授業でこれから外国語をする」といったときに、これを見て、「1年間、こんな学習する」ということを子供たちと大体確認をするような流れがあるということか。
研究員代表	今回、6社見せていただいて、どの教科書もそのような、さっき言った学びのロードマップのような形もあったが、1年間、特に小学校の5、6年生の外国語というのは中学校へつなぐということが大きな部分だと思うので、中学校につなげていくためにこんな力をつけていくというのは、特に年度当初、外国語を始める特に5年生に関しては、学びの意欲を高めていくためにも、まずは1年間の見通しを子供たちにもたせることはとても大事と思った。 ただ、毎時間、目次を見ていくということはなかなか難しいと思うが、単元のゴールというところは、やはり毎時間、私も授業を見ている中では、フ

	<p>ファイナルゴールといって単元のゴールを見て、ここに到達するためにはこの時間のゴールがここだというような形で単元の見通し、それが年間につながっていくというような形で授業を組み立てていく必要があると思って、今回、6社見せてもらった。</p>
委員	<p>大体分かったが、子供がこれを見て、「こんな学習するのだ」ということを感じるかというのは一つ思ったところである。だから、調査・研究ということなので、目次でそれがというところにちょっと疑問を感じたところで発言をした。</p>
委員長	<p>他に何かないか。</p>
委員	<p>6年生の教科書を見ると、なかなか難しい表現が多いという思いをいつもしているのだが、教科書ごとに高度な表現というか難しい表現、中学校の教科書のようなそういった表現があるかと思う。そういったところで何か話題に上がった、話が出たところがあったら教えていただけか。</p>
研究員代表	<p>本当にどの教科書も今回内容がとてもいろいろ工夫がされていて、構成もしっかり学習指導要領を踏まえた構成で作られているなどというのを感じた。それから、文法事項も中学校等で出てくるような文法事項がたくさんあった。過去形であったり、不定詞であったりなど、他にも、中学校1年生、2年生で出てくるような表現が自然と教科書全体に散りばめられているのだが、ただ小学校の段階では文法説明は当然しないし、目的・場面・状況というものをしっかり押さえた上で子供たちがどういう話かというのを推測して、そして音声にしっかり慣れて、それから、言語活動であるので、自分の気持ち、考えをどの表現を使ってしっかり伝えていくか、やり取りをしていくかということを見たときに、確かに難しいというところはあるのだが、やはりそこは音声を十分しっかり授業の中で子供たちが慣れ親しんで、自然とこの言葉を使って英語を使ってみたいというような表現として慣れて中学校に上がっていけば、また中学校でも自然と英語の力がついてくるのではないかと思った。</p>
委員長	<p>一つ、よろしいか。今、熊本市は光村図書を使っている。先ほどいちばん最初にいろいろデータを出していただいて、全国平均と比べて言語活動のところ少し足りないというようなことを言われていた。今回、光村が非常に◎が多いが、そういう熊本市の先生方がちょっと感じている「もう少しここを」というようなところが非常に良くなっているのか。やはり先生方が使いやすい教科書だと、そういう活動も上がっていくわけである。だから、そこが今までは少しうまくいってないと感じたようなデータだった。それで、そこがすごく先生方が使いやすいというふうになれば、もっとそこが上がっていくと単純に考えたが、どうだろうか。</p>
研究員代表	<p>私たちがそういう視点で今回見ていったのだが、子供たちと実際に英語の授業をしてきた研究員の先生の声のいろいろ聞きながら、実際熊本市の子供たちのデータとしては、まだ言語活動の部分で、自分の気持ちや考えを伝えたいのだが、英語の表現が定着していない、出てこないというのが実態としてある。これは令和2年度に教科化されて間もないが、熊本市の現状として、外国語専科の先生方が3分の1ぐらいしかいないということは、残りは学級担任の先生が授業している。そのときに、デジタル教科書やデジタルコンテ</p>

	<p>ンツをずっと今年度も、今まで光村の教科書を使ってきていて、その中でデジタル教科書も使いやすい。それから、流れとしても言語活動を使いやすいということは先生の声も聞いたので、今回、現行のものよりもかなりバージョンアップされている部分もあった。これはどの会社もとてもバージョンアップされていて工夫がされているのだが、ご意見等も参考にしながら、今回このような判断をしたところである。</p>
委員長	他に何かあるか。
委員	少し議題から離れるかもしれないが、英語は週に何時間ぐらいあるのか。
研究員代表	5年生、6年生で週2時間、年間70時間になる。
委員	それでは、基本的に言語活動は、中学校につなぐということか。
研究員代表	そうである。
委員	言われていた文法やそういうものは何もせずに、言葉、会話をすることか。
研究員代表	<p>聞く、話すということが中心にあるのだが、5年生、6年生から今度は読むことも書くことも入っている。ただ読むことに関しては、中学校みたいに文字を読んでいくのではなくて、音を十分いっぱい聞いてから、だんだん子供たちが絵と単語の文字と音が一致する。単語を見たときに、「これはバナナかな」や、絵を見てインプットされていることからだんだん読めるようになっていく。それが単語レベル、ちょっとした表現、文レベルというものをだんだん慣れていって読めるようになって、今度は書ける、写すという活動が5、6年は入ってくる。書き写して、その後、書き写しに慣れてきたら、今度は少し自分で単語を書いてみる。ただ、そこに自分でまとまったスピーチを書こうというところはなかなかまだ難しいので、音声がとても大事な部分になってくると思っている。</p> <p>だから、2時間は音声重視の授業が今進められているところである。</p>
委員	そういう意味では、日本人はとても使えない英語だと、読んだり書いたりできるが、使えない英語だとよく言われている。使える英語により近づきつつあるということか。普段、英語を使えるようになる、そのベースになっているということか。
研究員代表	どの教科書も場面によって、こういう場面ではこういう英語を使ってみようというような形でたくさん表現を入れてあるので、それを子供たちがいっぱい聞いて、自然と口から出てくるような流れに作ってあると感じた。
委員	非常にいい形になっていると思う。6年生の後ろの方を見ていると、中学生でもなかなか書けないような文章を書くような形になっている。だから、使える子はどんどん使えるだろうし、できるだろうと思う。それで70時間と言ったが、どういう時間が削られたのか。国語の力と比べて、国語は基本ではないか。国語が固まってない部分に外国語が入ってきた、そのギャップがどうかと思った。

研究員代表	<p>学習指導要領には言語能力ということが書いてあり、国語の勉強と英語の勉強は、もちろん言語の種類が違うのだが、他の教科とも融合してというか総合的に系統的に連続性を持たせて、教師側がいろんな形で工夫をしながら授業を組み立てていく必要があると思う。</p>
委員	<p>そういう形で非常に使いやすく、良い教科書だということか。</p>
研究員代表	<p>そうである。</p>
委員長	<p>他にないか。 まとめをする。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということよろしいか。 これで外国語の教科用図書について、協議を終了する。</p>
委員長	<p>次に、道徳の調査・結果の報告をお願いします。</p>
研究記録員	<p>《道徳 調査・結果報告》</p>
委員長	<p>続いて、教科書展示会の感想・意見について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務副局長	<p>《事務副局長 教科書展示会感想・意見報告》</p>
委員長	<p>質問及び協議に入る。質問・意見があれば、出していきたい。</p>
委員	<p>最初に示していただいた付属しているものは、どの会社になんがつかっているかというのを教えてもらえるか。今使っている日文にはノートがついている。東京書籍等には何がついていたのかなというのをもう一回教えていただきたい。 先生たちは授業するとき何もないと取っかかりにくいかなという方もいるかと思うので、東書がいいなといったところも含めて。</p>
研究員代表	<p>研究員で人気があったのは東書である。4人中4人が東書を扱いたいと。あと、人気があったのは光村が2人、日文が2人。日文はやはりノートがついているというのが特徴。ほかはついていない。ただ、先ほど説明あったように、デジタルノートはある。また、教師用指導書には、コピーして使えるシートは全部そろっているということ。光文書院は別にノートが、160円だったと思うのだが、ついている。二次元コードは、そこに書いてある東書、教出、日文が全教材についている。中でも内容が非常に充実しているのが東書と日文。光村であれば二次元コードには朗読、参考資料、それと全部じゃないのだが、一部動画もある。光村も非常に内容的には充実をしている。 ほかには、二次元コードはついていないが、中身はあまり充実していないところ。特に二次元コードが少ない会社は、やはり付録としてはまだもうちょっと、いまいちかなというところはある。 ほかに詳しく話せばできるが、それぐらいでよろしいか。</p>
委員長	<p>先生方は実際利用される観点からいろいろそう言うのだが、保護者のお母様やお父様とか、あと青少年委員の先生とか民生委員の方から見て自由な発</p>

	<p>想で、何かあるか。</p>
委員	<p>東京書籍さんのほうを見ていて、扉のページがしっかりついていて、周りのイラストも分かりやすくいいなと思った。</p> <p>あと、ちょっと思ったのが、日本文教出版さんの付箋5のところ、95頁だが、イラストがいまいち意味が分からなくて、これを見て子供たちがどう思うのかなとか、そういう観点の話は出たのかなと思った。</p>
研究員代表	<p>先ほど、日文の「なくそう！いじめ」のイラストのところだが、そこでも迫田のほうから説明があったように、ちょっとここは、言われるとおり、説明に時間を要する。図の説明、配置と、やはりこれでもう45分しっかり取らなければいけないだろうというところで、もう一工夫、教材文との関連というところでちょっと使いにくいかなというところで私たちも考えていた。</p>
委員	<p>もう一度、星取り表というか最後に出た一覧の表を出していただいてよいか。東書と光村が◎が1つだけ違うのだが、観点3の補充的・発展的な学習なのだが、光村のほうなぜ○だったのかというのを教えていただいてもよいか。</p>
研究記録員	<p>光村は、先ほどプレゼンの中にもあったように、とても学び方について丁寧に記されている。ただ、東書の◎のところは、道徳科が他教科や道徳教育につながる教材をたくさん提示してある。目次のところで、光村図書を見ていただくと分かると思うが、コラムや付録のようなものは、学び方についての記載はあるのだが、道徳科が他教科や道徳教育につながるものというのが少数として少ない傾向にあった。よって○であると判断した。</p>
委員長	<p>東書が非常に充実している、先生方から使いやすいという意見のほうになっているということなのか。</p>
研究員代表	<p>研究員の4名の先生方からは、共通して東書を使いやすいんじゃないか、使ってみたいと話題になった。各教科書、特徴があって、いろんな面白いところはそれぞれある。東書はトータルとして、例えば二次元コードも充実しているし、発問もよい。スライドショーがちゃんとあって、そういう視覚的な教材提示もできるようにというところで、ちょっと使ってみたいかなという意見は多かった。</p> <p>光村については、非常に教科書らしいと話題が上がった。発問等もそろえて、きちっと考えられて実践しやすいということだが、二次元コードについては、東書のほうが1歩研究が進んでいるかなというところである。</p> <p>日文の一番いいところはノートがついていて、今回、ノートに発問がないというところが非常に自由度が高まって、学級の実態に合わせて使いやすくなっている。また学習の振り返り等も非常に学期ごとにできるようになっていたり、家庭との連携もそのノートに入っているというノートの充実はある。それぞれよさはあるのだが、先ほど言ったが、先生方の感想としてそういうことが上げられた。</p>
委員長	<p>まとめをする。各社、それぞれに特色があるが、調査報告の内容は妥当であるということによろしいか。</p> <p>これで道徳の教科用図書について、協議を終了する。</p>

委員長	<p>本日は、書写、社会、算数、理科、外国語、道徳の6種目の教科書についての報告を受け、協議した。6種目とも、調査報告の内容は妥当であったということで、よろしいか。</p> <p>以上で13種目全ての小学校教科用図書についての協議が終了した。</p> <p>これで、熊本市教科用図書選定委員会議事の全てを終了する。</p>
-----	---